



2020
議会だより

よしか

第55号

「きらめけ、我らの吉高魂！
届け、私たちの願い！！」



提供 題字：「吉賀高校 3年 武岡梨緒さん」 写真：「吉賀高校 3年 野城珠人さん」

▶定例会の概要	2～3頁	▶一般質問	12～15頁
▶定例会の主な質疑	4～5頁	▶主な議会動向	15頁
▶全員協議会	6～7頁	▶発委・発議・請願・陳情	16頁
▶議案の議決結果表	8・11頁	▶要望	17頁
▶議会へのご意見	9・10頁	▶現地調査・編集後記	18頁

第一回定例会

《令和2年3月3日～18日の16日間》



令和2年度提出議案

全議案可決



一般会計予算

68億9254万円

*一般会計の状況

人件費：対前年比 7.5%

扶助費：対前年比 2.0%

公債費：対前年比 7.8%

増える

対前年比 3.9%減

・特別会計 7件

26億5626万円

・水道事業会計

4億1976万円

ピックアップ

▶一般会計予算の事業から

* 農業振興総務費

6,165万4千円

総合的な農業分野の振興を図るための経費です。

・地域商社設立事業費

1,819万2千円

* 林業振興総務費

2,796万7千円

成長産業化と地域の活性化を図るための経費です。

・地域おこし協力隊事業費

732万7千円

* 防災設備費整備事業費

3億2,495万5千円

情報伝達の確実性を向上させ、対応・避難等につなげるものです。

・監理業務委託料

821万7千円

・建設工事費

3億1,660万円

* 教育施設整備事業費

1,981万1千円

児童生徒1人1台端末及び高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備するものです。

・校内LAN及びシステムリース料

1,653万3千円

(全員賛成 可決)

▶民生相談員に関する条例の制定について

住民の生活の向上と民生の安定を図り、福祉の増進に寄与するため、民生相談員を設置するもので、町内担当の民生委員・児童委員及び主任児童委員に委嘱して報酬及び費用弁償を支給するものです。

(全員賛成 可決)

▶介護保険条例の一部を改正する条例について

介護給付費の上昇に対応するため住民の方に一部負担を求め保険料率を引き上げるものです。

(賛成多数 可決)

▶町営住宅条例の一部を改正する条例について

主な改正点は連帯保証人の保証する極度額を入居時の家賃の12月分に相当する額としたことです。

(全員賛成 可決)

▶平成31年度吉賀町一般会計補正予算(第10号)

六日市病院より追加支援の要望書が提出されました。これにより町として補正を組んだものです。

地域医療対策費 6,600万円

(全員賛成 可決)

ブランド化推進事業に疑問

内 容

町では農業生産者や加工生産者の所得向上を図るために、米、サフラン、ラッキョウなどのブランド化を進めています。

しかし、生産者への説明も十分にされていないなかでの事業の推進に、不安と疑問の声が多く出ました。

問 藤升議員

米、サフラン、ラッキョウ、有機茶の目標とする生産者数、作付面積、単価、販売金額等、具体的な数値を示して欲しい。

答 産業課長

お茶はブランド化ということではなく、茶園の保全を目的としていく。ラッキョウは生産量を1トン、販売金額は350万円程度を考えている。

問 桑原議員

お茶のブランド化事業の推進に、地域おこし協力隊員があられた。定着してもらうための支援が必要ではないのか。

答 産業課長

起業される方への支援等は用意しているつもりである。

問 河村（由）議員

31年度のサフランの生産量は124gであるが、売れ残りが84gある。この程度の事業に税金を使うのはムダなことである。これで生産者の所得が向上するなど試算しているなら、大きな誤算である。早く方向転換をして違う方向を目指すべきである。

答 町長

大きく方向転換する気持ちは今はない。まずは挑戦させていただきたい。

問 庭田議員

全てが税金を使ってする仕事である。緻密な計画と町民への説明が必要なのではないのか。

答 産業課長

計画性を持った緻密な目標設定が必要と考えている。

主な質疑

六日市病院へ追加支援

6,600万円!!

内 容

将来にわたり、病院を残して町民の命と安心を守るため、苦しい経営が続く病院に追加の支援を決めました。

2年度の予算では2億1,021万円となります。

問 三浦議員

令和4年に公設民営化のシミュレーションが出されている。これにより経営は改善されるのか。

答 保健福祉課長

県・町・病院で構成する「あり方検討会議」で様々なシミュレーションを行っている。



介護保険料 8.2% 引き上げ

内 容

介護保険給付費の増加により、平均 8.2% の保険料引き上げが示されました。

反対討論 藤升議員

基準額である 5 段階では、年間 7 万 3, 200 円から 7 万 9, 200 円という大幅な引き上げである。利用がふえれば保険料がふえるという制度の見直しをするべきである。



町内で生産・加工されたらっきょう漬け

コロナ対策に緊急質問

問 藤升議員

コロナウイルスに感染した方で被保険者証がない場合の対応は。

答 保健福祉課長

ない人も被保険者証と同じ扱いにする考えである。

問 大多和議員

備蓄マスクは十分にあるのか。

答 野村総務課長

8 万枚弱保有している。配布の優先順位は、一番目に福祉施設、医療機関、二番目に学校としている。

大丈夫か？ 地域商社

内 容

昨年に続き、地域商社を設立するための事業費 1, 896 万が計上され、計画が示されました。しかし、計画には裏付けされたものが少なく、多くの疑問の声が上がりました。その結果、経済常任委員会で調査・研究を継続して行う事になりました。

問 桜下議員

地域商社設立事業費のなかの委託料と、支援業務の説明を求める。

答 産業課長

丹後王国から協力隊として雇用する人件費と、商社設立から運営開始までのアドバイスをってもらう業務委託である。

※地域商社については一般質問でおおくの議員が質問しています。

ようやく 斎場増築へ

内 容

長年、町民の要望が強かった斎場の増築が実現することになりました。今年度設計業務を終えて 3 年度に着工するという計画が示されました。

問 藤升議員

予定する増築内容について説明を。

答 税務住民課長

山を切り取った部分を利用して、可能な限りの増築を考えている。

問 大多和議員

トイレの設置は検討していないのか。

答 町長

構造的に難しいが、ホールが広くなると今のトイレも使い勝手はよくなると考えている。

全員協議会には、次の3つのパターンがあります。

(1) 議会独自の協議、
意見調整

(2) 本会議の審議に伴う、
協議、意見調整

(3) 町長による事前説明、
意見の聴取

2月19日 全員協議会

8件が町長・各担当者よりの詳細説明がありました。4時間かけて協議しました。今回2つの件について掘り下げて、紹介します。

31年度中期財政計画と、第3次、第4次行財政改革です。

【説明者 総務課 落合主幹】

「自立し、持続可能で、透明な財政運営を目指して」

令和11年度までの10年間の計画が示されました。

六日市病院支援、社会福祉協議会への支援も前提条件としています。一般の会社では、貯金を崩しながらの経営となります。



一般の会社の収支に例えると 単位(億円)

	令和2年	令和6年	令和11年
収入	66.2	59.7	54.8
支出	65.8	58.9	54.0
借金	79.5	60.0	38.2
貯金	25.3	18.7	12.8



吉賀町本庁舎

質問殺到

河村(由)議員

前回の説明では11年度基金残高が4000万円だったのでは

落合主幹

基金残高10億円確保で計画し、主に普通建設事業費を調整した

大多和議員

町の各施設の縮減、維持管理費の縮減を進めては

町長

確実に、堅実にとっている

三浦議員

普通建設事業費の削減は町内業者に影響があるのでは

落合主幹

最低限の事業費は確保している

庭田議員

建設事業費削減で、住民の安全安心が確保できるか

町長

財政状況を見ながら経費の削減や、基金の取り崩しで対応する

「議案の審査又は議会の運営に関し、協議又は調整を行うための場」として、法律上明確にされています。

2月28日 全員協議会

議題は、8件。新型コロナウイルス対策本部の設置などで、5時間の審議時間となりました。
その中で地域商社の設立の件について紹介します。

【説明者 産業課 矢富主任】

地域商社は、吉賀町と近隣溪谷地域の価値創出を行う組織で、役割別に3つ（財団法人、株式会社、社団法人）にわけらる。

藤升議員

3000万円が、出資金でなく出捐金であるが、権利については



矢富主任

財団法人は出捐であり、権利はない

中田議員

やくろ、農業公社と競合し、商品の奪い合いになるのでは



矢富主任

公社とも連携して商品開発や、商品をつくりたい

松蔭議員

町内でホップを栽培しビール製造とあるが



矢富主任

ホップは町内で1軒栽培している

地域おこし協力隊を活用した、森林資源活用・担い手育成事業

【説明者 産業課 齋藤主幹】

地域おこし協力隊の制度の事業と、森林環境譲与税を活用し、作業を実践する会社、自伐林家を育成していきたい。

期間は3年で、募集人員は9人を予定している。



大多和議員

研修場所が、奈良県とあるが現地で研修か



齋藤主幹

10日程度の研修予定としている
現地の事業者をお願いしている

藤升議員

山の資源の活用など、課の中で検討しているか



齋藤主幹

付加価値をつけ、地域商社と絡めて進めたい

【広報担当者コメント】

齋藤主幹の説明の中に、森林資源を有効に活用し、持続的な森林経営が可能な、管理システムの構築と、それを利用して経営できる林業作業班の育成を、目的とした事業の実施とあり、製造業の町で、農業・林業を基幹産業に育てることが、町の生き残りに繋がるのでは。

【全員賛成で可決した議案】…欠席議員を除く (議長は、可否同数の場合を除き採決に加わらない)

	議案番号	件名
第 1 回 定 例 会	承認第 1 号	専決処分の承認 (平成 31 年度吉賀町一般会計補正予算 (第 8 号))
	議案第 1 号	平成 31 年度吉賀町国民健康保険事業特別会計補正予算 (第 4 号)
	議案第 2 号	平成 31 年度吉賀町後期高齢者医療保険事業特別会計補正予算 (第 3 号)
	議案第 3 号	平成 31 年度吉賀町介護保険事業特別会計補正予算 (第 4 号)
	議案第 4 号	平成 31 年度吉賀町小水力発電事業特別会計補正予算 (第 3 号)
	議案第 5 号	平成 31 年度吉賀町一般会計補正予算 (第 9 号)
	議案第 6 号	吉賀町長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の制定
	議案第 7 号	吉賀町地域公共交通会議条例の制定
	議案第 8 号	吉賀町民生相談員に関する条例の制定
	議案第 9 号	吉賀町行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部改正
	議案第 10 号	吉賀町監査委員に関する条例及び吉賀町水道事業の設置等に関する条例の一部改正
	議案第 11 号	吉賀町職員の育児休業等に関する条例の一部改正
	議案第 12 号	吉賀町職員の服務の宣誓に関する条例の一部改正
	議案第 13 号	吉賀町放課後児童クラブ条例の一部改正
	議案第 15 号	吉賀町立学校施設開放条例の一部改正
	議案第 16 号	吉賀町公民館条例の一部改正
	議案第 17 号	吉賀町営住宅条例の一部改正
	議案第 18 号	吉賀町特定優良賃貸住宅条例の一部改正
	議案第 19 号	吉賀町医療従事者等確保対策給付金の支給等に関する条例の廃止
	議案第 20 号	吉賀町単独住宅条例の廃止
	議案第 21 号	令和 2 年度吉賀町水道事業会計予算
	議案第 22 号	令和 2 年度吉賀町興学資金基金特別会計予算
	議案第 23 号	令和 2 年度吉賀町国民健康保険事業特別会計予算
	議案第 26 号	令和 2 年度吉賀町小水力発電事業特別会計予算
	議案第 27 号	令和 2 年度吉賀町下水道事業特別会計予算
	議案第 28 号	令和 2 年度吉賀町農業集落排水事業特別会計予算
	議案第 29 号	令和 2 年度吉賀町一般会計予算
	議案第 30 号	平成 31 年度吉賀町一般会計補正予算 (第 10 号)

議会についてのご意見をお聞かせください

吉賀町議会では、議会活性化のため、具体的な取り組みを進めています。

つきましては、住民の皆様から議会についてのご意見や提言をお寄せいただきたいと思います。

ご住所やお名前を記入された方には、回答させていただきます。

なお、議会・町政に関しないものやひぼう中傷等には回答いたしませんので、ご了承下さい。

のりしろ

切り取り

折ってください

料金受取人払

益田郵便局承認

215

差出有効期間
2021年12月
31日まで
(切手不要)

698-8790

吉賀町六日市七五〇

吉賀町役場 議会事務局 行

ご意見等ある方は、
裏面にご記入の上、
外枠にそって切り
取り封書にして投
函してください。

折ってください

折ってください

切手貼

のりしろ

切り取り

折ってください

次のことにご注意いただき、ご意見等をお寄せください。

- ◇議会・町政以外のことについてのご意見等はご遠慮ください。
- ◇ご住所、お名前の記載がない場合は、回答はいたしません。
- ◇いただいたご意見等を、匿名で「議会だより」や町のホームページに掲載することがあります。
- ◇簡潔な内容をお願いします。



折ってください

切り取り

回答を希望される方はご住所、お名前を記入してください。

(個人情報保護により、記載されたご住所、お名前等は他の目的には使用しません。)

ご住所 〒

お名前

男・女 (歳代)

件名

折ってください

切り取り

第1回定例会	議案第31号	請負契約の変更（町道朝倉真田線七村橋補修工事）
	議案第32号	吉賀町過疎地域自立促進計画の変更
	議案第33号	平成31年度吉賀町一般会計補正予算（第11号）
	発委第1号	地方議会の人材確保のための環境整備に関する意見書（案）の提出
	発委第2号	吉賀町議会会議規則の一部改正
	陳情第1号	町道二ノ宮線の改良工事及び林谷川の改良工事に関する陳情
	要望第5号	社会医療法人石州会の経営安定化に関する要望書【一部採択】

【賛成多数で可決した議案】

○：賛成 ●：反対 欠：欠席

議案番号	件名	桑原	三浦	桜下	松蔭	中田	大多和	河村(隆)	大庭	河村(由)	庭田	藤升
第1回定例会	議案第14号	吉賀町介護保険条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	欠	●	●	●
	議案第24号	令和2年度吉賀町後期高齢者医療保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	●
	議案第25号	令和2年度吉賀町介護保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	●
	発議第1号	地方財政の充実・強化を求める意見書（案）	○	●	○	○	○	○	欠	●	●	○
	発議第2号	農産物検査制度の見直しを求める意見書（案）	○	○	●	○	○	○	欠	○	○	○
	請願第1号	萩・石見空港活性化に関する請願	○	○	○	○	○	○	欠	○	●	○

人権擁護委員

次の方を人権擁護委員に推薦することに議会は、「異議なし」と答申しました。

河野 緑氏（再任）

柿木村大野原

表紙紹介

この度より、表紙の題字・写真について、吉賀高校の皆さんにご協力いただくことになりました。

先生方をはじめ、生徒の皆さんにはお手数をお掛けすることになりますが、よろしくお願い致します。

若い世代の皆さんにも、町政に関心を持っていただくきっかけになってもらえればうれしいです。



中田 元

質問

昨年12月議会に、寄贈されたトレーニングマシンの運搬・設置料102万9千円の提案があった。器具は購入すれば2200万円位とのことである。

町民に再度周知し、一人でも多くの方がこの器具を利用するよう質問する。

現在、真田の吉賀町交流研修センターに設置してあるが、残りの器具を他の施設に設置する予定はあるのか。吉高生や若い人の利用が多いと聞くが、器具によっては高齢者の方もトレーニングができれば使用できるのではないかと。

筋肉を鍛えるレッグエクステンションや、うつ伏せになってひざ



周りの筋肉を鍛えるプロテインレッグカールなど、高齢者の方も使用できると思われる器具もあり、介護予防を楽しみながら出来るというメリットもある。出来るだけ気軽に使える利用料金を望む。

町長

今後、利用状況、要望等を聞き、増設も検討したい。

町民が広く利用できることを前提に民間事業者等への貸し出しも考えたい。他の施設などの利用料等助案し、徴収時期も合わせて検討したい。



桑原 三平

質問

3年度より、地方交付税が一本算定となり、財政が厳しくなる。

中期財政計画によると、歳出の面では人件費、扶助費、公債費は横ばい状態で推移するとのことだが、普通建設事業費や新規事業の額は抑えられている。

2年度、歳入の財源を確保するため、ふるさと応援寄付金制度の活用を強化し、増収に結び付ける施策は重要だ。

他方本願でなく、住民・企業の所得・経済力を向上させる施策が必要だと思いが。

自主財源の中で、固定資産税や利用料・使用料について現時点で見直しはあるのか。

町長

2年度一般会計予算での自主財源の割合は、20.7パーセントである。

住民や法人の所得を向上させ、税収を確保することも重要と認識している。

水田活用園芸への支援、地域商社による経済の振興、森林資源の有効活用に取り組み、農林業者の所得確保を目指す。

商工業では、起業・創業や地域内経済循環の支援策を進め、経済の活性化による所得の向上につなげたい。

自主財源の確保が難しい中、住民の負担については現時点で持ち得ないが、公平・公正な負担は、検討せざるを得ない時期が来る

と考えている。



庭田 英明

質問

地域商社、ブランド化等、新しい事業が進められているが、高齢化や、担い手のいない生産現場を、住民の声を聞きながら、育成していく地道な施策が必要ではないのか。

町長

県・町・病院の三者で構成するあり方検討会議では、病院を残すことを大前提において、将来の姿を検討しているところである。

指定管理者制度の見直しを

町長

一番大事なのは生産者をしつかり育てることである。並行して実を上げていく。

質問

人口の減少、施設の老朽化等、多額の財源を必要とする制度は、見直しの時期に来ているのではないかと。

病院は残すという強い決意を

質問

町民や、職員の不安を払拭するために、何があっても、六日市病院を残すという強い姿勢を示すべきである。

町長

将来の財政負担等を考えると、突っ込んだ議論をしていく必要があると考える。



町政活性化に関する要望書の対策は



三浦 浩明

質問 昨年8月に提出された「町政活性化に関する要望書」について、町議会としても特別委員会を設置し、提出者や執行部との話し合いが持たれた。

その結果、全員賛成で採択されたが、この問題は町づくり計画、総合戦略、人口ビジョン計画にも影響することである。

その後、町としての対応と今後の対策について聞く。

町長 六日市病院への支援は、中長期的課題解決に向けて、あり方検討会議で方向性実現のための検証を進めている。医療従事者確保対策は、医療・介護従事者確保支援補助金制度を創設

し従事者確保に繋げていく。
また、経営支援として6600万円の追加支援を行う。
六日市学園については、学園閉鎖準備室において閉鎖に向けた事務が進められているが、改善に向けた具体的な進展には至っていない。
町としても学園の持つ重要性は十分認識しており引き続き努力を重ねていく。労働者不足については、吉賀町人材確保定着推進協議会の活動をさらに強化し企業との情報交換や連携強化に努める。
「はとの湯」「ゆらら」については、事業分析の結果に基づき、窮境要因について緊急性や財政面も考慮しながら除去に向けて対応する。

総合戦略について



河村 隆行

質問 総合戦略は、まずは5年間の総括を行い、新たに作成するべきではないか。平成27年度から31年度までの5年間で、転入、回帰、定住の新しい人の流れをつくる数値目標を掲げ取り組んでも達成できなかつたら、どこに問題があったのか検証して新たに目標値を定め、取り組むべきではないか。

完全無償化、支援策が本来に良かったか、保育所無料化、ゼロ歳から保育所入所が良いのか、後年度に影響はないのかなど策定時から計画の見直し、検討されている。一部利用者負担を見直しする

など、多方面にわたって検討するべきではないか。

町長 少子化対策関係の完全無償化については、いろいろと議論があるところだが、U・I・ターンも含め吉賀町へ戻ってもらう、来てもらう一つの大きな要因だと思う。当然財政のことは気になるところだが、許す限りの中で、現在の施策は継続するつもりである。

出生数も目標値57人を、5年間で達成できなかった年はない。

全世代型社会保障の充実で町民は安心か



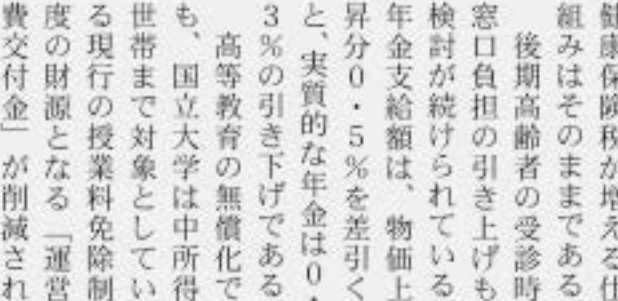
藤 升 正 夫

質問 施政方針で町長が紹介した安倍首相の「全ての世代が安心できる全世代型社会保障への転換には、介護保険料の総報酬割の完全実施で、協会けんぽや共済組合の加入者、雇用主の負担を6百億円増やし、子どもが増えたら国民健康保険税が増える仕組みはそのままである。後期高齢者の受診時窓口負担の引き上げも検討が続けられている。年金支給額は、物価上昇分0・5%を差引くと、実質的な年金は0・3%の引き下げである。高等教育の無償化でも、国立大学は中所得世帯まで対象としている。現行の授業料免除制度の財源となる「運営費交付金」が削減され

るため、現在、授業料が全額または一部免除されている学部生4万5千人のうち2万4千人が支給額の減少や支援打ち切りとなる。消費税率が、6年前と昨年あわせて5%もの引上げを行なわれた中で、「全世代型社会保障の充実」が、町民に与える影響についてどのように捉えているか。

町長 現役世代への負担上昇を抑えることと、将来へのつけを可能な限り抑制するための手法だと認識している。

町民生活への影響を決して否定するものではないが、いたし方ないと考えている。



町民生活への影響を決して否定するものではないが、いたし方ないと考えている。

六日市病院の「公設民営化」について



桜下 善博

質問

昨年、六日市学園の卒業式の時、重富理事長より、「令和2年からの学生募集の停止、令和4年からの六日市学園の閉校、常勤医師2名の県外への異動」が唐突に告げられた。

それを受けて、町の医療、介護、医療介護の連携について、町、県、六日市病院の三者で「医療介護あり方検討会議」が設置された。

町民からも、六日市病院の存続について署名も提出された。

先日の全員協議会で、六日市病院の、令和4年から「公設民営化」に移行するというシミュレーションが報告された。経緯について聞く。

町長

当初より、民設民営、公設民営、公設公営の3つが考えられ、どの形態が病院にとって有効なのか検討してきた。

まず公設公営は、町の意向に沿った病院運営ができるが、多額の負担が町に発生する可能性が非常に高いために外した。民設民営、公設民営に絞り、シミュレーションを作成し、検討してきた。収支を比較したら、明らかに経営形態としては公設民営が、経営として安定しているのが判断した。ただし町財政に影響を及ぼす重要事項の検証や、不確定要素が多いための、「公設民営化」について、引き続きあり方検討会議で検討していく。

六日市庁舎の喫煙所に愛の手を



大多和 安一

質問

六日市庁舎の喫煙場所が、町民体育館の付近に指定されている。

受動喫煙防止の観点から、法律等の改正で役場敷地内禁煙となつたためだが、役場を利用する町民はかなり不自由で、不便な思いをしている。

たばこ税で約3700万円の歳入を見込んでいるのなら、庁舎東側入り口に近い敷地外の河川敷に、風雨を避ける程度の簡単な喫煙場所を設置できないか。

町長

健康増進法の改正により、第1種施設とされた本庁舎は、敷地内禁煙である。例外として、

①喫煙場所が区画されている。

質問

②喫煙場所の標識を掲示

③第1種施設を利用する者が、通常立ち入らない場所に設置の3つの条件が整えば設置が認められる。

提案場所は、敷地外だが歩道や、車道に隣接し、通学生や、歩行者等が望まない受動喫煙をする事が考えられ、設置は難しいと考えている。



地域商社について



河村 由美子

質問

昨年度1400万円、今年度は1900万円と税金を投入して地域産品をふるさと納税の返礼とし、町の歳入の増加を図る計画だが、産品生産が構築されていない現状で、コンサル料が増幅するのみでは税金の無駄使いである。

過去にもこうした事例で事業計画が何度も頓挫した例があり、見直し、中止も視野に入れるべきと考える。

本格的に計画を遂行する考えに変わりはない。過去の轍を踏まない努力をする中で、今後関係者や生産団体との協議も必要である。

また、6月には出捐金の3000万円の準備も必要になるので、お金を掛けずに地域商

質問

社が地域の皆様と出来る可能性も視野に検討したい。

地域医療について

質問

病院は今年改善に向け、介護療養型から介護医療院に変更すれば移行定着加算措置があり、事業収入の増加が見込まれるようだが、町は同意するのか。

町長

介護保険事業計画策定委員会での協議した結果、第7期介護保険事業に与える影響が大きくなり、第1号保険者の月額保険料に影響し給付費準備基金も減少する中で介護保険財政の破綻を生じる可能性が高いため同意できない旨を伝えた。



松 蔭 茂

質問

沢田、中原
住宅団地には
集会所がない。

町長

法令で定め
られている道
路の整備等、スベース
的に集会所建設は余裕
がなかった。

地区会の話では「話し合い等自治会活動ができない。建て替え前はあったが今はなく、担当課へ聞くと、他の住宅団地にはない、予算もないからできないと言われた」ということである。

住民のコミュニケーションの場もないようでは、協働と交流できいきと暮らせるまちづくりという町長の施政方針に反するのではないか。

財源は交付金を使っているので費用対効果も問われる。

今後、解体する建物もあるそのスベースを見ながら地元の方と協議し、検討する。



沢田住宅

最近の主な議会動向

月日	用 務	出席者
1月3日	吉賀町成人式	議長・総務委員長
1月5日	吉賀町消防出初式	議 員
1月7日	広報広聴常任委員会	広報広聴委員・議長
1月10日	広報広聴常任委員会	広 報 広 聴 委 員
1月14日	広報広聴常任委員会	広報広聴委員・議長
1月23日	全員協議会	議 員
1月23日	六日市病院に関する特別委員会	特別委員・議長
2月3日	六日市病院に関する特別委員会〔津和野町〕	特別委員・議長
2月9日	公明党島根県本部新年賀詞交歓会〔浜田市〕	議 長・副 議 長
2月10日	六日市病院に関する特別委員会	特別委員・議長
2月12日	全国過疎地域自立促進連盟理事会〔東京都〕	議 長
2月14日	議員任意勉強会	議 員
2月17日	益田地区広域市町村圏事務組合定例議会〔益田市〕	組 合 議 員
2月18日	鹿足郡一部事務組合定例議会〔吉賀町・津和野町〕	組 合 議 員
2月19日	全員協議会	議 員
2月19日	議会運営委員会	議会運営委員・議長
2月19日	六日市病院に関する特別委員会	特別委員・議長
2月20日	人口減少対策セミナー〔浜田市〕	議 員
2月21日	島根県町村議会議長会定期総会〔松江市〕	議 長
2月22日	「竹島の日」記念式典〔松江市〕	議 長
2月28日	全員協議会	議 員
2月28日	議会運営委員会	議会運営委員・議長
3月3日 ～ 18日	第1回定例会	議 員
3月19日	広報広聴常任委員会	広報広聴委員・議長
3月24日	島根県土木部長へ訪問	議 長

発委

(委員会が提出した議案)

▼【発委第1号】

地方議会の人材確保のための環境整備に関する意見書(案)の提出について

提出者 議会運営委員会

委員長 桜下 善博

〔理由〕地方議会の人材確保のための環境を整備するため

○審査結果

本会議採決 可決(全員賛成)

▼【発委第2号】

吉賀町議会会議規則の一部を改正する規則について

提出者 議会運営委員会

委員長 桜下 善博

〔理由〕議員の育児、介護の場合の欠席の届出を新たに規定するため

○審査結果

本会議採決 可決(全員賛成)

◇議会活性化の取り組みとして、発委第1号については、地方議会のなり手不足を解消するために7項目についての環境整備を国に求めるもので、発委第2号については、当町議会の会議規則を一部改正し、子育て世代や女性が少しでも議員に立候補しやすい環境を整備するものです。

発議

(議員が提出した議案)

▼【発議第1号】

地方財政の充実・強化を求める意見書(案)

提出者 藤升 正夫

〔理由〕財政需要に応じた財政確立により、安心して暮らせる町づくりに寄与するため

○審査結果

委員会採決 可決(賛成多数)

本会議採決 可決(賛成多数)

▼【発議第2号】

農産物検査制度の見直しを求める意見書(案)

提出者 藤升 正夫

〔理由〕農産物規格規定の検査項目等について見直すことを国に求める必要があるため

○審査結果

委員会採決 可決(全員賛成)

本会議採決 可決(賛成多数)

請願・陳情

▼【請願第1号】

萩・石見空港活性化に関する請願

提出者 萩・石見空港活性化推進協

議会 会長 御神本 康一

○審査結果

委員会採決 採択(全員賛成)

本会議採決 採択(賛成多数)

▼【陳情第1号】

町道二ノ宮線の改良工事及び林谷川の改良工事に関する陳情

提出者 蔵木自治会長 桑原 等

〔理由〕町道二ノ宮線は有効幅員が狭く急傾斜であり、林谷川も谷幅も狭く側壁も未整備部分があり危険であるため

○審査結果

委員会採決 採択(全員賛成)

本会議採決 採択(全員賛成)



町道二ノ宮線及び林谷川の現地調査

▼【要望第1号】

住居表示に「柿木村」を残すために字名の変更を求める要望書

提出者 柿木村地域振興協議会

会長 村上 貢

柿木自治会長会

会長 友重 博

「理由」 自治区住民が地域の歴史的文化的財産の地名である「柿木村」に強い愛着を持ち、維持していくことを強く望んでいるため

○審査結果

総務常任委員会において継続審査



提出者へのヒヤリング

▼【要望第5号】

社会医療法人石州会の経営安定化に関する要望書

提出者 社会医療法人 石州会

理事長 谷浦 博之

○審査結果

委員会採決 一部採択（全員賛成）

本会議採決 一部採択（全員賛成）

「六日市病院に関する特別委員会報告書」

6回の特別委員会を開催し、全員賛成で一部採択と決した。

【要望の要旨】

(1) 令和元年度における更なる追加支援

(2) 令和2年度において特別交付税と5000万円に更なる追加支援

(3) 第5次支援計画以降（令和3年度以降）においても特別交付税と可能な限りの支援

【審査結果】

一部採択（全員賛成）と決した。

要望項目（2）（3）を除き、（1）について採択とする。

【審査理由】

現在、社会医療法人石州会等が抱える課題解決を図り、将来的な地域の実情に応じた医療・介護を目指すため、吉賀町、石州会、島根県の構成による「吉賀町医

療・介護あり方検討会議」が設置され、議論がなされている状況である。

したがって、その方向性が出ていない現段階においては今後の町財政への影響を計り知ることができないので、要望項目（2）（3）にある令和2年度以降の財政支援に対する判断は、現時点では困難であるという結論に達したため。

【審査意見】

① 要望項目（1）の令和元年度の更なる追加支援については、石州会の収支状況を十分調査のうえ、更なる経営改善の努力を求め、今後の町財政の状況を踏まえた財政支援をされたい。

② 町と石州会は、地域医療を守るといふ一致点で協議する姿勢を堅持し、常に相互尊重の立場で情報共有し、更に知恵と力を出し合えるよう連携を密にされたい。



提出者へのヒヤリング

定例会での現地調査（3月5日）



町道福川長崎線三之瀬橋
(柿木村福川地内)

町道唐人屋線唐人屋トンネル
(柿木村福川地内)



朝倉公民館（朝倉地内）



大野原グラウンドゴルフ場
(柿木村大野原地内)

編集後記

目に見えない新型コロナウイルスが、猛威を振るっています。

人口密度の低い町ですが、人・物の動きが速いインターの町、吉賀町です。

お互い油断しないで、ガンバリましょう。

我々編集部は、大きな夢に、向かっています。

広報誌の全国コンクールで、3年連続で埼玉県寄居町議会が、最優秀賞に輝くという史上初の快挙を、成し遂げられました。町民の皆さんや、吉賀高校の応援を頂き、まず県内での受賞をめぐしてガンバります。

文責 河村隆行

